



慶應義塾大学

論理と感性のグローバル研究センター

第140回バイオサイコシンポジウム

日時：2014年4月24日（木） 18:30~

場所：慶應義塾大学三田キャンパス 研究室棟地下1階 第1会議室

<http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html>

発表者：神前 裕 (Yutaka Kosaki)

(慶應義塾大学先導研究センター)

Navigation, Association, and Multiple Learning Systems in the Brain

動物の空間学習の研究は、20世紀前半に様々な学習理論の妥当性を検証する重要な場を提供した。20世紀後半の「認知地図」の脳内表象に関する発見は、空間表象に関わる細胞レベルでの神経機構の研究を一気に進展させたが、その一方で、動物が空間内の「何をどう学習するのか」というそもそもの問いに関する研究は同じような発展を見なかった。発表者は、近年再び盛り上がりの兆しをみせる空間学習に関する学習理論的研究において、発表者自身がラットを用いて最近行ってきた研究、特に海馬と線条体に関わる空間学習の連合的特質およびそれらの相互作用についての話題を提供する予定である。

* 発表言語は日本語または英語、会費無料・事前登録は不要

共催： 慶應義塾大学「論理と感性のグローバル研究センター」、「人間知性研究センター 認知・行動部門」

問い合わせ先： 伊澤栄一 (慶應義塾大学 文学部) e-mail: izawa@psy.flet.keio.ac.jp